

# 第76回国民体育大会 三重県準備委員会

## 第9回 総務企画専門委員会



# 三重とこわか国体

第76回国民体育大会 ときめいて人 かがやいて未来 2021

平成 29 年7月4日(火)

三重県栄町庁舎 第41会議室

# 第76回国民体育大会三重県準備委員会 第9回 総務企画専門委員会 資料目次

- 第9回 総務企画専門委員会 次第 …P 2
  
- 報告事項
  - (1) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 総務企画専門委員会委員の変更 …P 3
  - (2) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過 …P 4
  - (3) 2020年オリンピック開催に伴う正式競技(種目・種別)の追加について …P 9
  - (4) 国民体育大会の名称変更の検討について …P 13
  
- 審議事項
  - (1) 第76回国民体育大会 デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び  
会場地市町第二次選定候補(案) …別冊
  
- その他
  - (1) 今後の国体開催準備スケジュールについて …P 14
  - (2) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 総務企画専門委員会 委員名簿 …P 15

第76回国民体育大会三重県準備委員会  
第9回 総務企画専門委員会 次第

期日：平成29年7月4日（火）

時間：10：00～11：00

会場：三重県栄町庁舎4階

第41会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

- (1) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 総務企画専門委員会委員の変更
- (2) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過
- (3) 2020年オリンピック開催に伴う正式競技（種目・種別）の追加について
- (4) 国民体育大会の名称変更の検討について

4 審議事項

- (1) 第76回国民体育大会 デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場地市町第二次選定候補（案）

5 その他

- (1) 今後の国体開催準備スケジュールについて

6 閉 会

## 第76回国民体育大会三重県準備委員会 総務企画専門委員会委員の変更

第8回総務企画専門委員会(平成29年2月17日)以降における委員の変更について、第76回国民体育大会三重県準備委員会会則第13条第4項の規定により報告します。

(敬称略)

選出区分	所属機関・団体・役職名	旧	新
県(行政)関係	地域連携部 スポーツ推進局 スポーツ推進課長	別所 志津子	林 幸喜

## 第76回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過

年度	月	日	開催準備	主な内容
平成 23 年度	8	24	県体育協会からの要望	三重県体育協会から、平成33年の国民体育大会の開催について、知事、県教育長に対して、要望がなされました。
	9	1		同じく、県議会議長に対して、要望がなされました。
	9	14	県議会における招致表明	第3回定例会において、知事が平成33年の第76回国民体育大会について招致表明をしました。
	10	18	県議会における決議	県議会において、「第76回国民体育大会の招致に関する決議」が決議されました。
	11	15	開催要望書の提出	開催招致表明等を受けて、県、県教育委員会、県体育協会の連名により、文部科学省、日本体育協会に開催要望書を提出しました。
	1	11	本県開催の内々定	日本体育協会 理事会において、平成33年第76回国民体育大会の本県開催が内々定されました。
平成 24 年度	8	31	三重県準備委員会設立総会、第1回総会の開催	三重県準備委員会が設立され、「開催基本方針」、「事業計画」、「収支予算」、「総会から常任委員会への委任事項」について審議し、決定しました。
			第1回常任委員会の開催	「会場地市町選定基本方針」、「県及び会場地市町の業務分担・経費負担基本方針」、「競技施設整備基本方針」、「競技役員等養成基本方針」、「広報基本方針」等について審議し、決定しました。
	10	15	第1回総務企画専門委員会の開催	「 <u>会場の選定に向けた取組に係る基本的な考え方</u> 」について審議しました。
	10	16	第1回施設専門委員会の開催	「競技施設基準」(案)について審議しました。
	10	19	第1回市町連絡調整会議、第1回競技団体連絡調整会議の開催	「会場の選定に向けた取組に係る基本的な考え方」について説明し、市町、及び競技団体に対して、会場地選定の作業に着手するよう要請しました。
	2	25	第1回競技専門委員会の開催	「競技役員等編成基本方針」(案)、「競技役員等養成基本計画」(案)について審議しました。
平成 25 年度	5	17	第2回総務企画専門委員会の開催	「 <u>開催準備総合計画</u> 」(案)、「 <u>県及び会場地市町の業務分担・経費負担細目</u> 」(案)、「 <u>会場地市町一次選定候補</u> 」(案)について審議しました。
	5	29	第2回常任委員会の開催	「会場地市町一次選定」、「開催準備総合計画」、「県及び会場地市町の業務分担・経費負担細目」、「競技施設基準」等について審議し、決定しました。
	7	2	第2回総会の開催	「事業報告」、「収支決算」、「事業計画」、「収支予算」について審議し、決定しました。

	7	8	第2回市町連絡調整会議の開催	「会場地市町一次選定」、「二次選定以降の進め方」、「中央競技団体正規視察の取組」等について説明しました。
			第2回競技団体連絡調整会議の開催	「会場地市町一次選定」、「二次選定以降の進め方」、「中央競技団体正規視察の取組」、「競技役員編成・養成に関する基礎調査」等について説明しました。
	9	11	第1回広報・県民運動専門委員会の開催	「広報基本計画」(案)、「効果的な広報活動」について審議しました。
	3	14	<b>第3回総務企画専門委員会の開催</b>	<b>「会場地市町二次選定候補」(案)、「公開競技実施基本方針」(案)について審議しました。</b>
			第2回競技専門委員会の開催	「競技運営基本方針」(案)について審議しました。
	3	25	第3回常任委員会の開催	「会場地市町第二次選定」、「公開競技実施基本方針」、「競技運営基本方針」、「広報基本計画」について審議し、決定しました。
平成 26 年度	5	16	第3回市町連絡調整会議の開催	「会場地市町第三次選定並びに第四次選定」、「公開競技の実施」、「中央競技団体正規視察」等について説明しました。
			第3回競技団体連絡調整会議の開催	「会場地市町第三次選定並びに第四次選定」、「中央競技団体正規視察」、「役員養成事業の実施」等について説明しました。
	7	17	第3回総会の開催	「事業報告」、「収支決算」、「事業計画」、「収支予算」について審議し、決定しました。
	8	12	第4回市町連絡調整会議の開催	「国体開催における施設整備補助制度」等について説明しました。
	9	10	<b>第4回総務企画専門委員会の開催</b>	<b>「会場地市町第三次選定候補」(案)、「公開競技会場地市町第一次選定候補」(案)、「総合開・閉会式会場地選定候補」(案)について審議しました。</b>
	9	17	第4回常任委員会の開催	「会場地市町第三次選定」、「公開競技会場地市町第一次選定」、「総合開・閉会式会場地選定」について審議し、決定しました。
	1	20	第5回市町連絡調整会議の開催	「中央競技団体正規視察」、「競技用具整備の概要」、「国体開催における施設整備補助」等について説明しました。
			第4回競技団体連絡調整会議の開催	「中央競技団体正規視察」、「競技用具整備の概要」等について説明しました。
	2	19	第2回広報・県民運動専門委員会の開催	「県民運動基本方針」(案)、「愛称・スローガンの制定」等について審議しました。
	3	13	第3回競技専門委員会の開催	「競技用具整備基本方針」(案)、「競技用具整備要項」(案)、「デモンストレーションスポーツ実施基本方針」(案)について審議しました。

	3	13	第5回総務企画専門委員会の開催	「開催基本構想策定の進め方について」(案)、「会場地市町第四次選定候補」(案)、「会場地市町における開催予定施設の変更について」(案)、「公開競技会場地市町第二次選定候補」(案)について審議しました。
	3	18	第5回常任委員会の開催	「開催基本構想策定の進め方」を報告し、「会場地市町第四次選定」、「公開競技会場地市町第二次選定」、「デモンストレーションスポーツ実施基本方針」、「県民運動基本方針」、「競技用具整備基本方針」、「常任委員会から専門委員会への付託事項および委任事項 変更」等について審議し、決定しました。
平成 27 年度	4	27	第6回市町連絡調整会議の開催	「中央競技団体正規視察に向けた準備」、「開催基本構想策定」等について説明しました。
	5	14	第5回競技団体連絡調整会議の開催	「中央競技団体正規視察に向けた準備」、「競技役員等養成事業」等について説明しました。
	7	16	第6回総務企画専門委員会の開催	「会場地市町第五次選定候補」(案)、「公開競技会場地市町第三次選定候補」(案)、「開催基本構想(素案)(案)」について審議しました。
	7	16	第3回広報・県民運動専門委員会の開催	「県民運動基本計画」(案)、「愛称・スローガンの選定」(案)について審議しました。
	7	27	第6回常任委員会の開催	「マスコットキャラクターの募集」を報告し、「会場地市町第五次選定」、「公開競技会場地市町第三次選定」、「開催基本構想(素案)」、「県民運動基本計画」、「愛称・スローガンの選定」について審議し、決定しました。
	7	27	第4回総会の開催	「事業報告」、「収支決算」、「事業計画」、「収支予算」について審議し、決定しました。
	8	10	中央競技団体による正規視察の開始(順次実施)	国民体育大会正式競技及び特別競技にかかる中央団体の正規視察を開始しました。
	12	15	第1回輸送・交通専門委員会の開催	「輸送・交通基本方針」(案)について審議しました。
	12	25	第1回警備・消防専門委員会の開催	「警備・消防防災基本方針」(案)について審議しました。
	1	19	第7回総務企画専門委員会の開催	「会場地市町第六次選定候補」(案)、「開催基本構想(最終案)(案)」について審議しました。
1	19	第4回広報・県民運動専門委員会の開催	「マスコットキャラクターの選定」(案)について審議しました。	

	1	25	第7回常任委員会の開催	「マスコットキャラクター愛称及び規定書体の募集、選定」、「デモンストレーションスポーツの募集」を報告し、「会場地市町第六次選定」、「開催基本構想」、「マスコットキャラクターの選定」、「輸送・交通基本方針」、「警備・消防防災基本方針」等について審議し、決定しました。
平成 28 年度	5	10	第7回市町連絡調整会議及び第6回競技団体連絡調整会議の開催	「第76回国民体育大会の会期」、「マスコット展開形に関するデザイン確認依頼」、「施設及び競技用具に関する調査」等について説明しました。
	6	1	開催申請書の提出	県体育協会会長、県知事、県教育委員会の連名により、日本体育協会、文部科学省に開催申請書を提出しました。
	7	20	本県開催の内定	日本体育協会 理事会において、平成33年第76回国民体育大会の本県開催が内定されました。
	7	21	第5回広報・県民運動専門委員会の開催	「マスコットキャラクター愛称の入選作品」(案)について審議しました。
	7	22	第1回宿泊専門委員会の開催	「宿泊基本方針」(案)、「宿泊基本計画」(案)について審議しました。
	8	2	第8回常任委員会の開催	「宿泊基本方針」、「宿泊基本計画」、「マスコットキャラクター愛称の選定」について審議し、決定しました。
	8	2	第5回総会の開催	「事業報告」、「収支決算」、「事業計画」、「収支予算」について審議し、決定しました。
	12	22	第6回広報・県民運動専門委員会の開催	「イメージソングの制作手続きについて」(案)、「三重とこわか国体イメージソング募集要項」(案)等について審議しました。
	2	1	第8回市町連絡調整会議及び第7回競技団体連絡調整会議の開催	「第76回国民体育大会の会期の決定に向けた取組」、「競技会の開催に向けた取組」、「宿泊及び輸送に関する取組」等について説明しました。
	2	17	第8回総務企画専門委員会の開催	「大会会期案」(案)、「デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場地市町第一次選定候補」(案)について審議しました。
	3	1	第2回輸送・交通専門委員会の開催	「輸送・交通基本計画」(案)について審議しました。
	3	3	第1回医事・衛生専門委員会の開催	「医事・衛生基本方針」(案)、「医事・衛生基本計画」(案)について審議しました。
	3	27	第9回常任委員会の開催	「デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場地市町第一次選定」、「輸送・交通基本計画」、「医事・衛生基本方針」、「医事・衛生基本計画」について審議し、決定しました。



平成 29 年度	5	10	第9回市町連絡調整会議 及び第8回競技団体連絡 調整会議の開催	「三重とわか国体の大会会期及び競技別会期の 決定までのスケジュール」、「イメージソングの制 作」、「会場地市町における配宿業務」等について説 明しました。
----------------	---	----	---------------------------------------	--

## 2020年オリンピック開催に伴う正式競技 (種目・種別)の追加について

### 1 経緯

(公財)日本体育協会(以下「日体協」という。)は、平成26年6月に「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」を定め、オリンピックの実施競技・種目で国体において未実施の競技・種目・種別を、オリンピック開催に伴う国体への導入対象競技として選定し、導入条件を充たしたものから、段階的に国体の正式競技として実施することとしました。

### 2 第76回国民体育大会(三重とわか国体)における正式競技導入対象競技

平成29年6月16日に開催された日体協の国民体育大会委員会において、第76回国民体育大会(三重とわか国体)における正式競技導入対象競技(種目・種別)が、以下のとおり選定されました。

競 技	種目等	種 別
水泳	水球	女子(成年少年共通)
	オープンウォータースイミング	男子・女子(成年少年共通)
ボクシング		成年女子
バレーボール	ビーチバレーボール	男子・女子(成年少年共通)
体操	トランポリン	男子・女子(成年少年共通)
レスリング		女子(成年少年共通)
ウエイトリフティング		女子(成年少年共通)
自転車	トラック・ロード	女子(成年少年共通)
ラグビーフットボール	7人制	女子(成年少年共通)

### 3 導入対象競技の会場地市町の選定

導入対象競技の会場地市町の選定にあたっては、「第76回国民体育大会 会場地市町選定基本方針」及び「同選定基準」に基づき、次の(1)～(3)を基準として進めます。

- (1) 市町と競技団体との意向が合致していること。
- (2) 施設、交通、宿泊など実際の運営に必要な環境が整っており、開催が可能であると見込まれること。
- (3) 競合市町がないこと。

なお、日体協の国民体育大会開催基準要項に基づき、まずは同一競技開催市町と調整を進めることとします。

### 4 今後の対応

会場地市町が選定された競技については、平成30年6月開催予定の日体協の国民体育大会委員会で三重とわか国体の正式競技として決定されます。

このため、市町及び関係競技団体と連携し、導入対象競技の会場地市町の選定を進めていきます。

## 国民体育大会における2020年オリンピック対策 実行計画

平成 26 年 6 月 4 日

### 1. はじめに

平成 25(2013)年 9 月に、2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京都に決定したことを受け、大会の成功、とりわけオリンピック競技大会の成功を左右すると考えられる日本選手の活躍を目指し、アスリートを計画的に発掘・育成・強化することの重要性がより一層高まっている。

日本体育協会（以下「日体協という。」）では、平成 24(2012)年 3 月に策定された国の「スポーツ基本計画」及び平成 25(2013)年 3 月に日体協が策定した「21 世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」等の主旨を踏まえるとともに、オリンピック競技大会の成功に向けて、国民体育大会（以下「国体という。」）における「少年種別（ジュニア世代）の充実」、「女子種別の充実」を中心としたアスリートの発掘・育成・強化を促進するため、関係機関・団体等と協議・検討し、実行計画を策定した。

なお、本実行計画は、国体をめぐる今後の国内経済状況の変化やスポーツ界の動向等を踏まえ、所要の見直しを行っていくものとする。

### 2. 実行計画の内容

オリンピック競技大会の実施競技・種目で国体において未実施の競技・種目・種別のうち、下記(1)により選定した対象競技・種目・種別について、各大会の開催県及び会場地市町村との調整が整ったものをイベント事業として実施する。

イベント事業として実施した対象競技・種目・種別のうち、正式競技（種目・種別）への導入条件を充たし、かつ各大会の開催県及び会場地市町村との調整が整ったものを正式競技（種目・種別）として実施する。

#### (1) 対象競技・種目・種別の選定

##### 1) 選定方法について

選定にあたっては、国体における実施競技の区分や実施競技選定の状況を加味した上で、オリンピック競技大会と国体を比較し、国体で実施されていない競技・種目・種別について、当該中央競技団体に対する調査やヒアリングの結果を踏まえて「国体における 2020 対策プロジェクト」において協議し、国民体育大会委員会（以下、「国体委員会」という。）で選定した（詳細「資料 No. 1」参照）。

##### 2) 対象競技・種目・種別について

国体委員会においては、下表の競技・種目・種別を選定した。

競技	種目	種別
水泳	水球	女子
	オープンウォーター	男子・女子
ボクシング		女子
バレーボール	ビーチバレー	男子・女子
体操	トランポリン	男子・女子
レスリング		女子
ウエイトリフティング		女子
自転車	トラック・ロード	女子
ラグビーフットボール	7人制	女子
トライアスロン		男子・女子

## (2) スケジュール・実施形態

実行計画のスケジュール・実施形態は下表の通りとする（詳細「資料 No. 2」「資料 No. 3」参照）。

実施規模・会期などについては、各大会の開催県及び会場地市町村における競技施設や宿泊施設の状況等に鑑み、柔軟に対応する。

	対象大会	実施形態
ステップ1	平成 26(2014)年・第 69 回大会(長崎県)	イベント事業
ステップ2	平成 27(2015)年・第 70 回大会(和歌山県)	イベント事業
ステップ3	平成 28(2016)年・第 71 回大会(岩手県) 平成 29(2017)年・第 72 回大会(愛媛県) 平成 30(2018)年・第 73 回大会(福井県) 平成 31(2019)年・第 74 回大会(茨城県) 平成 32(2020)年・第 75 回大会(鹿児島県) 平成 33(2021)年・第 76 回大会(三重県) 平成 34(2022)年・第 77 回大会(栃木県)	正式競技(種目・種別) 又は イベント事業

### 1) イベント事業について

- ・ 試合形式の競技会（エキシビジョンマッチ）等を実施する。
- ・ 事業の企画・運営は、中央競技団体が主体的に行う。
- ・ 参加選手の選考や、選手の参加及び事業実施に伴う経費の負担については、中央競技団体とする。
- ・ 国体の総合成績の対象としない。

### 2) 正式競技（種目・種別）について

- ・ イベント事業の成果を踏まえ、下記（3）に記す正式競技（種目・種別）への導入条件を充たした競技・種目・種別を正式競技（種目・種別）とする。
- ・ 選手・監督の派遣は、都道府県体育（スポーツ）協会が行う。
- ・ 本大会の予選会としてブロック大会を開催する場合は、中央競技団体が主体となって企画・運営する。
- ・ 開催県選手は当該競技のブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。
- ・ 競技会（ブロック大会含む）実施及び選手・監督の派遣に伴う経費等の負担については、下記（4）による。
- ・ 国体の総合成績の対象とする。

## (3) 正式競技（種目・種別）への導入

### 1) 導入条件について

都道府県対抗として成立することを前提とし、以下の条件を充たすことが必要。

- ① 当該競技（種目・種別）における 1 県あたりの登録競技者が、当該競技団体の意向を踏まえて国体委員会が定める参加人員数を上回る<sup>※1</sup>こと。
- ② 上記①を充たす都道府県が原則として 40 以上<sup>※2</sup>あること。

<※1> 例：1 チームあたりの参加選手数が 10 名の場合、都道府県ごとに 10 名以上の登録競技者が必要。

また、階級制等を有する競技・種目・種別については、当該競技団体の意向を踏まえて国体委員会が定める階級並びに参加人員数に対応できる登録競技者が必要（例：レスリング・53 kg 級・女子種別を実施する場合、その階級に出場可能な都道府県ごとの女子登録競技者が、参加人員数を上回ること）。

<※2> 「国民体育大会開催基準要項」において、『正式競技は、日体協加盟競技団体のうち、原則として、40以上の日体協加盟都道府県体育協会等に加盟している団体の競技とする。』と規定するなど、「40以上」を都道府県における普及状況等を図る指標としてきたことから本実行計画においてもこれを準用する。

2) 導入の決定時期について

各大会における正式競技（種目・種別）については、上記導入条件の充足状況を踏まえるとともに、開催県及び会場地市町村と実施規模等を調整し、決定する。

なお、2020年東京オリンピック競技大会への対応という特別な事情を考慮し、原則として各大会開催年の3年前までに国体委員会にて決定する。

(4) 正式競技（種目・種別）実施時の経費等

1) 競技会経費等について

競技会（ブロック大会含む）実施に伴う経費等については、国、日体協及び中央競技団体において協議・検討し、開催県及び会場地市町村に負担の生じないよう対応する。

2) 選手・監督の派遣経費等について

選手・監督の派遣に伴う経費等については、正式競技（種目・種別）が都道府県対抗形式で実施され、総合成績の対象となることから、参加都道府県の対応とする。

3. その他

(1) 本実行計画に定めのない事項については、「国民体育大会開催基準要項」等に定める規定に準拠する。また、本実行計画の内容を変更する場合は、国体委員会で協議し決定する。

(2) 平成35(2023)年・第78回大会以降における本実行計画の対象競技・種目・種別の取扱いについては、実施競技選定に基づく実施競技の区分（正式競技・公開競技等）や、当該種目・種別の正式競技（種目・種別）導入条件の充足状況を踏まえ、改めて中央競技団体、開催県及び都道府県体育(スポーツ)協会等と調整し決定する。

## 国民体育大会の名称変更の検討について

### 1 経緯

(公財)日本体育協会(以下「日体協」という。)は、平成25年3月に、21世紀の国体のあり方やそれに向けた具体的な取組等についてまとめた「21世紀の国体像」を策定し、その中の取組の一つとして、国民体育大会の名称変更を継続的に検討すべき課題として位置づけました。

また、国会議員で構成されているスポーツ議員連盟において、国民の祝日である「体育の日」を「スポーツの日」に改正することが検討されています。

こうしたことを踏まえ、スポーツ基本法に規定されている「国民体育大会」と「日本体育協会」についても、名称変更に向けた検討が進められています。

### 2 名称変更に関する日体協の方針

平成29年6月23日に開催された日体協評議員会において、国民体育大会の名称変更に関する方針が以下のとおり決定されました。

#### <国民体育大会の名称変更に関する日体協の方針>

##### (1) 変更後の名称案

国民スポーツ大会

※最終的には「スポーツ基本法」の改正に準じて対応する。

##### (2) 今後の対応

国会での法改正を経た後に、日体協の定款および関連規程等の改定をもって、新たな大会名称への変更を行う。

なお、日本体育協会の名称については、平成30年4月1日に「日本スポーツ協会」に変更することが決定されました。

### 3 今後の対応方針

国体の名称変更は、開催準備に多大な影響を与えることから、これまで三重県では、スポーツ庁や日体協に対し、慎重に検討するよう求めるとともに、引き続き、国体の名称を使用できるよう要望してきたところです。

このような中、上記のとおり日体協の方針が決定されたことから、今後は、日体協や国の法改正の動向を注視するとともに、開催内定県等と情報共有を図っていきます。

## 今後の国体開催準備スケジュールについて

平成 29 年度における国体開催準備（総務企画専門委員会関係分）については、以下のとおり会議開催等を予定しています。

年 月		内 容
平成 29 年度 (4年前)	7月	<p>○第 10 回常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージソングの選定(案)の審議、決定</li> <li>・デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場地 市町第二次選定(案)の審議、決定 など</li> </ul> <p>○第 6 回総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度事業報告(案)、収支決算(案)の審議、決定</li> <li>・平成 29 年度事業計画(案)、収支予算(案)の審議、決定</li> <li>・常任委員会で決定した方針等の報告</li> </ul>
	2月	<p>○第 10 回総務企画専門委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020 年オリンピック開催に伴う国体への導入対象競技の会場地市町の選定候補(案)の審議 など</li> </ul>
	3月	<p>○第 11 回常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020 年オリンピック開催に伴う国体への導入対象競技の会場地市町の選定(案)の審議、決定</li> <li>・各種方針の審議、決定 など</li> </ul>

注：開催時期や内容は、いずれも予定であり、準備の進捗により変動することがあります。

第76回国民体育大会三重県準備委員会 総務企画専門委員会 委員名簿

(順不同：敬称略)

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
市町関係	三重県市長会 事務局長	伊藤 直樹
	三重県町村会 事務局長	奥村 仁孝
スポーツ関係	(公財) 三重県体育協会 理事長	東地 隆司
	三重県スポーツ推進審議会 委員	杉田 正明
	三重県スポーツ推進委員協議会 会長	馬場 宏
	(一社) 三重県レクリエーション協会 事務局長	津幡 佳代子
学校関係	三重県高等学校体育連盟 理事長	藤田 隆司
	三重県中学校体育連盟 理事長	太田 秀樹
県(行政)関係	戦略企画部 企画課長	安井 晃
	健康福祉部 健康福祉総務課長	野呂 幸利
	環境生活部 文化振興課長	高野 吉雄
	地域連携部 市町行財政課長	保科 実
	地域連携部 スポーツ推進局 スポーツ推進課長	林 幸喜
	教育委員会事務局 保健体育課長	野垣内 靖